

科目	情報処理I (Information Processing I)		
担当教員	平池 邦夫		
対象学年等	応用化学科・3年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム		JABEE基準I(1)
授業の概要と方針	情報処理にかかわる基礎的な理論や仕組みなど情報処理の基礎理論に関して講義した後、情報教育センターの演習室のパソコンを用いての演習等を行う。また、現在のコンピュータのトピックスなども必要に応じて取り入れる。また、研究発表の手段としてよく活用されているパワーポイントについての講義と演習を行う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	情報処理の基礎的な表現方法であるn進法が理解できる。コンピュータの基本的な構成について、ハード/ソフトの両面の理解と知識の獲得ができる。		2進法, 10進法, 16進法による数値表現と変換ができるか試験にて評価する。コンピュータの基本構成要素とその役割などが理解できているかを試験にて評価する。
2	データ構造と情報データの操作手順であるアルゴリズムの理論の理解ができる。		データ構造とアルゴリズムの理論の理解と実際の動作を確認できるかどうかを試験と演習にて評価する。
3	自分にとって必要な情報を検索・収集する技術と得た情報をもとに加工ができる		Web検索ページを活用し、キーワードによる検索で必要な情報を検索収集を演習およびレポートにて評価する。
4	プレゼンテーションのソフトの一つであるパワーポイントを使って、設定された演習課題を作成する。		設定された演習課題に基づき制作し、その作品を実際に発表し、作品の完成度、発表の内容および表現を評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、レポート10%、プレゼンテーション20%として評価する。100点満点で評価し55点以上を合格とする。		
テキスト	「情報科学の基礎理論への招待」：小倉久和著（近代科学者） 必要に応じて授業内容に関連したプリント等を配布する		
参考書	その他については、授業内にて適宜紹介する		
関連科目	情報基礎		
履修上の注意事項	授業で情報基礎をもとに展開する		

